

I

学部教育の理念と目標

- 看護学科の教育の理念と目標
- 教育上のポリシー等

学部教育の理念と目標

看護学科の教育理念と目標

看護学科主任 ● 宮 城 由美子

看護学科の教育理念は、「生命の尊厳に基づいた心豊かで総合的な人間教育を基盤として、創造的で国際的・学際的視野に立った論理的・倫理的な看護実践能力を育成し、看護学の発展並びに地域・国際社会に貢献できる高い能力をもつ看護専門職者を養成する」ことです。この理念の基に以下の6つの教育目標を設定しています。

- 1) 感性豊かな教養と高い倫理観を身につけた、心豊かな人間性を養う。
- 2) 高度な専門知識と技能を身につけ、健康問題を科学的・総合的に考えることのできる、自主性と創造性に富む柔軟な思考力を養う。
- 3) 看護の専門性の確立を目指した実践・教育・研究の基礎を身につけ、他領域の人々と連携できる学際的調整能力を養う。
- 4) 生涯を通して、保健・医療・福祉における連携・協働、科学的探究の態度を継続できる能力を養う。
- 5) 将来専門職として、幅広い社会的活動及び国際的な医療活動ができる能力を養う。
- 6) チーム医療を通して、それぞれの専門の特徴や共通性を学び、専門職としてのコミュニケーション能力を養う。

福岡大学は9学部31学科がOne Campusで学べる総合大学です。皆さんが将来看護職として、多職種連携に寄与できるためにも大学生活で様々な人と関わり、多様な価値観を理解できるように福岡大学の環境を積極的に活用してください。

福岡大学医学部看護学科は、高い専門性と自律性に基づいた看護を提供できる力と、生涯にわたって自己研鑽する力を育成していくことを目指しています。そのため看護職者としての思考力や判断力、技術力などの実践力を、講義・演習・実習を通して学びます。特に実習は福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院、さらに地域で生活する対象者の身近な保健・医療・福祉施設において臨地実習を展開しています。

看護学科での講義・演習では様々な領域を横断する内容で編成した科目を設け、看護のあらゆる対象者や場を広い視野で捉えることができるようなカリキュラムにしております。

看護は、病気でも病気でなくても、たとえば、子どもが健全に育つために、働き盛りの人が毎日元気に職場に行けるために、高齢者が幸せに日常を過ごし本人や家族が望む最期を迎えられるために、看護の対象者に寄り添い、その人を知りながら、その人にあった方法であらゆる場で生活を支えようとするものです。

看護が必要とされる場は拡大しています。看護が全ての人が対象とする限り、人々がいるすべての場が「看護の場」になります。どのような場でも看護の専門性と独自性を表現できる看護職者として育つため有意義な大学での学びができることを期待しています。

教育上のポリシー等

学位（教育）プログラムとは

学位を授与するために編成された教育課程のことを指します。医学部看護学科の学位（教育）プログラムは下表のとおりです。

学科	学位（教育）プログラム
看護学科	看護学

ディプロマ・ポリシー（DP）「学位授与の方針」とは

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）という。

カリキュラム・ポリシー（CP）「教育課程編成・実施の方針」とは

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）という。

履修系統図(カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリー)とは

カリキュラム・マップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのを示す。

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示したものをカリキュラム・ツリーという。

本章では、学位（教育）プログラムにおける下記について次頁より掲載します。

なお、FUポータルには履修系統図(カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ)をカラー版で掲載しています。

こちらも合わせて確認してください。

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】 FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）▶履修系統図（令和6年度入学生）▶共通教育

医学部：■ディプロマ・ポリシー（p. 5） ■カリキュラム・ポリシー（p. 5）

看護学科：■ディプロマ・ポリシー（p. 6） ■カリキュラム・ポリシー（p. 7）

■カリキュラム・マップ（p. 8） ■カリキュラム・ツリー（p. 9）

[医学部]

◎ディプロマ・ポリシー (DP)

医学部の教育課程においては、以下に掲げる能力をそなえ、医療のプロフェッショナルとしての誇りと広い視野を持ち、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 基本的な医療専門知識と技能を身につけている。
2. 主体的に課題を探究し、問題を科学的・論理的に解決することができる。
3. 保健・医療・福祉・公衆衛生等社会医学に国際的視野を持っている。
4. 人間性と倫理観に基づく医療現場での行動とコミュニケーション能力を備えている。

【共通教育】

共通教育の DP に関しては別に定める。

共通教育に関する DP をもって学部 DP を構成する。

◎カリキュラム・ポリシー (CP)

【教育内容】

- 1) 早期臨床医学体験、研究室配属：低学年時からの臨床医学の入門的講義や早期臨床医学体験実習を通じて、医療における個人情報保護や生命倫理の重要性を修得し、早期から医療人としてのプロフェッショナルリズムを育成します。また、研究室配属による研究体験等を通じて、科学的問題に対応する研究マインドを涵養し、研究能力の重要性を学びます。
- 2) 基礎、臨床医学・看護学教育：科学、医療の進歩を踏まえ、医療、看護を学ぶ上での基盤となる基礎医学、基礎看護学、また、臨床医学、臨床看護学、社会医学、社会看護学の知識を低学年から高学年になるに従い段階的に積み上げ、診療や看護に応用できる総合的な医学・看護学の知識の修得を目指します。
- 3) 臨床実習：医療において病歴や診察所見に基づいた臨床推論を行い、また、適切な医療遂行のために必要な EBM (Evidence-Based Medicine) や医療安全・感染対策の知識、チーム医療の重要性を学び、POS (Problem-Oriented System) を用いて、適切な診療録の記載の仕方やプレゼンテーションのやり方を学びます。一方、看護において、人の特性を理解し、多様な場で看護が実践できる基礎的能力を養います。患者への共感的態度、説明・同意に基づいた患者の自己決定権の尊重など、全人的医療を目標とし、医療人としての基盤的素養を育成します。同時に、医師、看護師としての自尊心、向上心、リーダーシップ能力を育みます。

【教育方法】

- 1) 科目別の系統講義、科目間連携による統合講義、医療安全、感染症に関する病院講習への参加により、基礎、臨床知識の縦断的、横断的な習得と医師、看護師としての基本的知識を修得します。
- 2) 主体的な学習姿勢、能動的学修能力、課題解決能力や実践能力の向上のために、小グループによる問題解決のための PBL (Problem Based Learning) や双方向型授業 (e-learning やポートフォリオ、レポート、ミニツッパーパー) 等の active learning を実践します。
- 3) 研究室配属による論文査読、レポート作成と発表、看護研究における論文作成と研究成果発表により、研究マインドの涵養を目指します。
- 4) 模擬患者を通じた疑似 (シミュレーション) 医療体験やロールプレイング、早期臨床実習 (地域基盤型 医療体験、病棟看護実習) の体験実習により、実臨床現場の理解と医療者としての自覚を促進します。
- 5) 参加型病棟実習において医療チームの一員として、実際に患者を受け持ち、問診、診察、臨床推論、カルテ記載、症例発表、看護ケアなどの体験により、実践的な医療人の育成を目指します。

【共通教育】

共通教育の CP に関しては別に定める。

共通教育に関する CP をもって学部 CP を構成する。

[医学部看護学科]

◎ディプロマ・ポリシー (DP)

【知識・理解】

- A-1 人間を身体的・心理的・社会的・スピリチュアルの側面から総合的に捉え、人間の生命・存在・QOLについて説明できる。
- A-2 国内外の社会の動向を踏まえて保健医療福祉のニーズや多様な健康問題を理解し、看護の機能と役割を説明できる。
- A-3 看護専門職者としてエビデンスに基づいた看護を実践するための健康や医療に関する専門的知識をもっている。
- A-4 多様な文化や価値、社会を理解するために必要な文化・社会・自然に関する知識が身についている。

【技能】

- B-1 的確なコミュニケーション能力をもち、看護の対象者との良好な人間関係を形成・保持することができる。
- B-2 看護専門職者として必要な基本的な知識・技能を活用し、人、場に応じて看護を実践する能力が身についている。
- B-3 保健医療福祉のあらゆる場において、チームの人々と協働・連携してコーディネートする力が身についている。
- B-4 看護学の発展に寄与するために新たな健康問題を捉え、主体的に課題を探究する能力をもっている。

【態度・志向性】

- C-1 看護専門職者として生命や人間の権利を尊重・擁護し、倫理的判断と行動できる態度や姿勢が身についている。
- C-2 専門的能力を向上させるために、主体的かつ継続的に研究・学習する姿勢が身についている。
- C-3 地域・国際社会の動向を踏まえて、グローバルな視点で看護を考える姿勢が身についている。

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学位（教育）プログラムDPを構成する。

◎カリキュラム・ポリシー（CP）

【教育内容】

- ① 専門基礎科目：看護学の観点から人間を系統的・多角的・総合的に理解し、臨床判断に必要な基礎的能力を強化することを目的に、看護実践のエビデンスとなる身体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、薬物療法、健康支援と社会保障制度を理解する科目、医療安全、多職種連携に関する科目、研究的態度を育成する科目を配置する。
- ② 専門教育科目：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、発達看護、在宅看護論、公衆衛生看護学の科目を、1年次から系統的に配置し、さらにコミュニケーション、フィジカルアセスメントを強化することで看護実践能力を育成する。

臨地実習は、看護の対象となる人間の生活の場と特性を理解し、多様な場で看護実践できる基礎的能力の育成を目的に1年次から段階的に配置する。4年次の統合実習では、施設内看護から地域包括ケアに繋がる実習展開とする。自ら課題設定・計画立案し、主体的かつ継続的に研究・学習する生涯学習姿勢を育成する。また、看護職として幅広い活動の場が得られるように、保健師国家試験受験資格を得る保健師選択履修コースと養護教諭一種、高等学校教諭一種（看護）の免許取得のための教職課程を選択制で設置する。

【教育方法】

- ① アクティブラーニング：ロールプレイングやシミュレーション教育を積極的に活用して臨床現場を模倣的に再現し、他者との協働により事例に取り組み、計画・実践・評価しリフレクションする学習プロセスにより、主体的な学習姿勢、課題解決能力や看護実践能力を育成する。
- ② 双方向の学習：学習支援システム（LMS）による動画配信やフォーラムディスカッション、ポートフォリオを活用し、自主学習を促す仕組みを構築している。学習成果をタイムリーに教授者と学生で共有して双方向の学習活動で、学生の主体的学習を促進する。
- ③ 少人数教育：臨地実習は、少人数グループで行う。実際の看護実践の場で、看護ケアの提供やカンファレンスを通して実践的な学習を行う。4年次の看護研究をゼミナール形式で行う。学生が自らテーマを決め、課題解決に向けて取り組み、発表や論文作成を通して研究的態度を養う。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。

◎履修系統図（カリキュラム・マップ）

学位（教育）プログラム【看護学】のカリキュラム・マップ（令和6年度入学生適用）

科目名	科目区分	必選区分	配当年次	A) 知識・理解				B) 技能				C) 態度・志向性				
				A-1	A-2	A-3	A-4	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2	C-3		
■■■■ 専門基礎科目 (27単位以上) ■■■■																
〔必修 (27単位)〕																
からだの構造と機能Ⅰ	専門	必修	1年次以上	○		○										
からだの構造と機能Ⅱ	専門	必修	1年次以上	○		○										
からだの防御のしくみ	専門	必修	1年次以上	○		○										
薬のはたらき	専門	必修	1年次以上			○										
薬のはたらきと薬物療法	専門	必修	2年次以上		○	○			○	○						
疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ	専門	必修	1年次以上	○		○										
疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ	専門	必修	2年次以上	○		○								○		
疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ	専門	必修	2年次以上	○	○	○								○		
食と生活	専門	必修	1年次以上	○	○	○										
コミュニケーション論	専門	必修	1年次以上	○				○								
公衆衛生学	専門	必修	1年次以上	○											○	
看護情報学	専門	必修	1年次以上			○	○				○	○			○	
医療安全と多職種連携	専門	必修	2年次以上		○	○		○	○	○			○			
保健医療福祉行政論	専門	必修	2年次以上		○		○									
看護研究入門	専門	必修	3年次以上			○						○				
〔選択〕																
疫学・保健統計	専門	選択	3年次以上			○						○		○	○	
健康相談活動	専門	選択	3年次以上				○					○		○		
■■■■ 専門教育科目 (70単位以上) ■■■■																
〔必修 (68単位)〕																
看護学概論	専門	必修	1年次以上	○	○	○							○			
成人看護学概論	専門	必修	1年次以上	○	○	○	○									
精神保健	専門	必修	1年次以上	○	○									○	○	
生活看護技術	専門	必修	1年次以上	○		○		○	○				○	○		
基礎看護学実習Ⅰ	専門	必修	1年次以上	○		○		○	○				○	○		
早期看護体験実習	専門	必修	1年次以上		○			○		○						
精神看護学概論	専門	必修	2年次以上	○	○											
老年看護学概論	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○									
在宅看護概論	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○									
発達看護概論	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○									
看護過程展開技術	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○			○				○		
ヘルスアセスメント	専門	必修	2年次以上	○		○		○	○				○	○		
診療看護技術	専門	必修	2年次以上			○		○	○				○	○		
看護の理論と倫理	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○					○	○			
基礎看護学実習Ⅱ	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○	○	○	○			○	○		
急性期の看護	専門	必修	2年次以上	○		○			○				○			
慢性期の看護	専門	必修	2年次以上	○		○			○				○			
回復期・リハビリテーションと看護	専門	必修	2年次以上	○	○	○			○	○			○			
発達看護	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○			○			○			
発達看護実習Ⅰ	専門	必修	2年次以上	○	○	○		○					○	○		
公衆衛生看護学総論	専門	必修	2年次以上	○	○	○										
災害看護	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○									
国際保健看護	専門	必修	2年次以上	○	○	○	○						○		○	
家族看護論	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○								
終末期の看護	専門	必修	3年次以上	○		○						○				
病気をもち高齢者の看護	専門	必修	3年次以上	○	○	○			○				○	○		
周産期の看護	専門	必修	3年次以上	○	○	○						○				
病気をもち子どもと家族の看護	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○					○	○		
精神看護実践論	専門	必修	3年次以上	○	○	○			○				○	○		
在宅看護実践論	専門	必修	3年次以上	○	○	○	○			○			○	○		
看護技術総合学習	専門	必修	3年次以上			○		○	○				○	○		
クリティカルケア看護実習	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○	○	○			○	○		
周術期看護実習	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○	○	○			○	○		
慢性期看護実習	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○	○	○			○	○		
精神看護学実習	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○	○				○	○		
老年看護学実習	専門	必修	3年次以上	○	○	○	○		○	○			○	○		
発達看護実習Ⅱ	専門	必修	3年次以上	○	○	○		○	○	○			○	○		
看護管理	専門	必修	4年次		○	○							○			
看護研究	専門	必修	4年次	○	○	○	○						○	○		
在宅看護論実習	専門	必修	4年次	○	○	○	○	○	○	○			○	○		
統合実習	専門	必修	4年次	○	○	○		○	○	○			○	○		
〔選択必修 (2単位以上)〕																
健康行動科学入門	専門	選択必修	2年次以上	○	○	○				○						
がん看護	専門	選択必修	3年次以上	○		○				○			○			
先端医療と看護	専門	選択必修	4年次	○		○							○			
〔選択〕																
学校保健	専門	選択	1年次以上				○				○			○		
養護概説	専門	選択	2年次以上				○				○			○		
健康行動科学方法論	専門	選択	2年次以上		○	○			○		○		○			
健康政策論	専門	選択	4年次		○	○									○	
公衆衛生看護活動論Ⅰ	専門	選択	2年次以上	○	○		○									
公衆衛生看護活動論Ⅱ	専門	選択	3年次以上						○				○			
公衆衛生看護活動論Ⅲ	専門	選択	3年次以上		○		○					○				
公衆衛生看護学実習	専門	選択	4年次		○	○				○			○		○	

※共通教育科目に関しては、共通教育科目に関するカリキュラム・マップで別に定める。

